

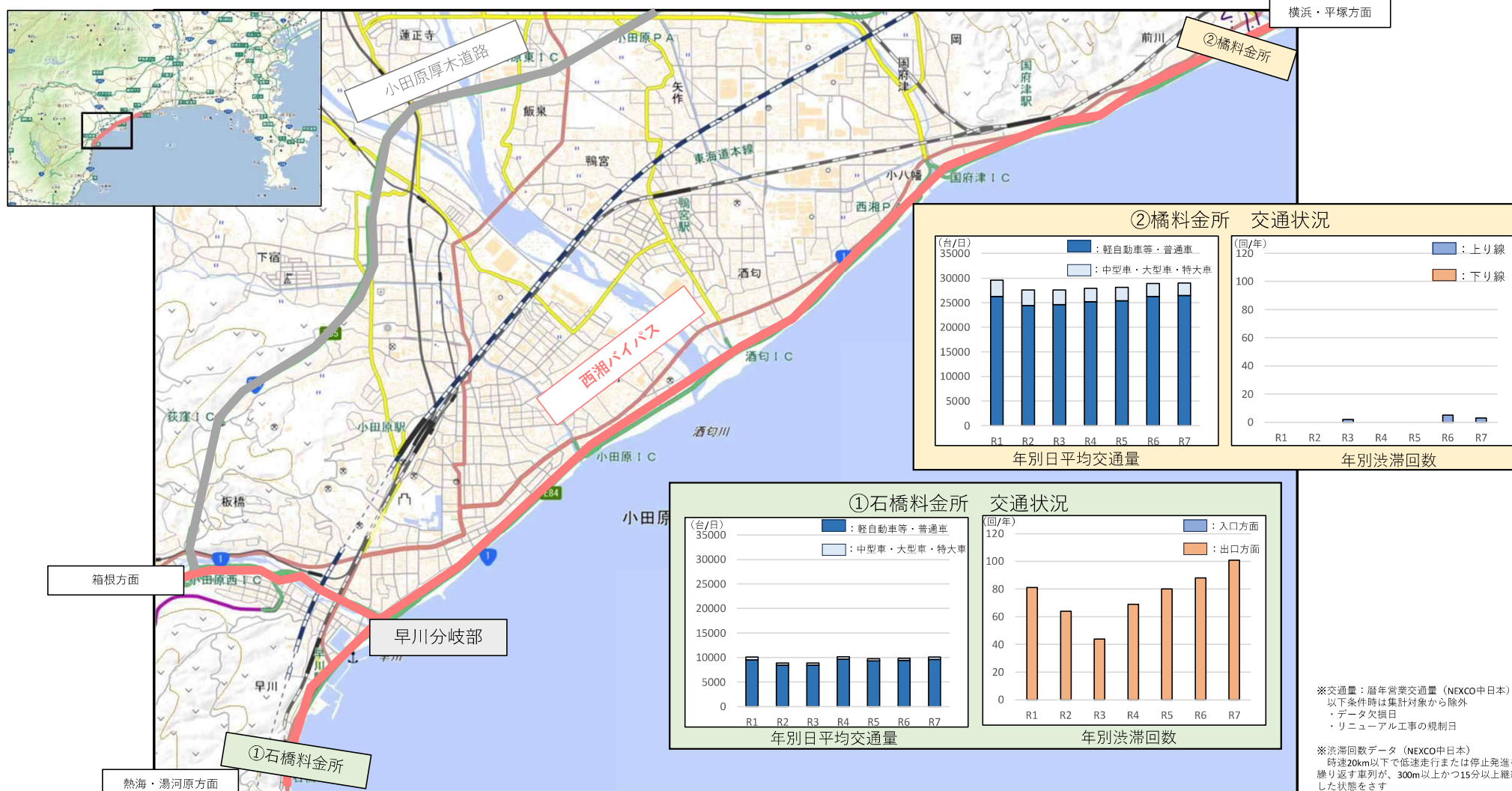
西湘バイパス交通円滑化対策検討会

1. 交通状況と課題について
2. 時間帯別料金（案）と評価項目について

令和8年10月29日

西湘バイパスの交通状況(通行台数・渋滞回数の推移)

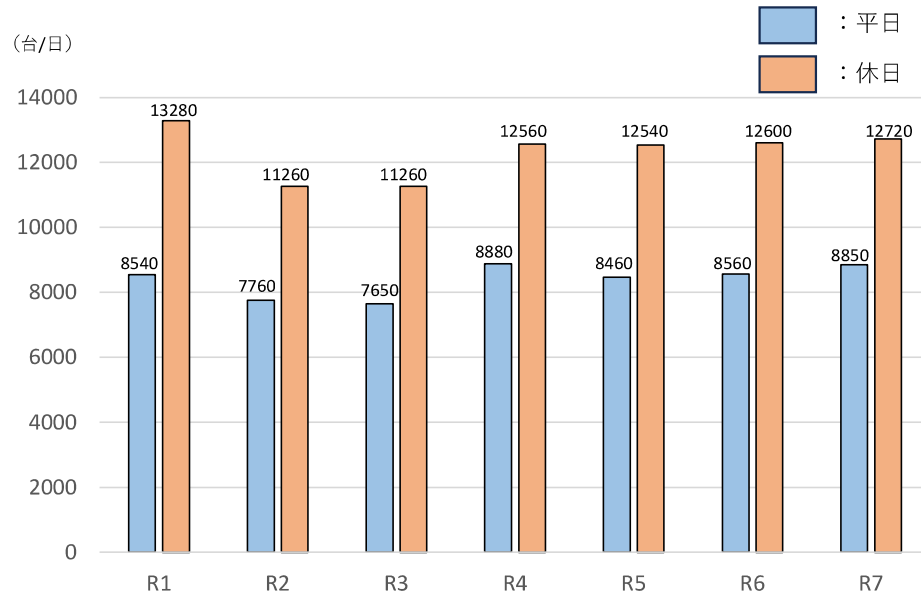
- 石橋料金所の通過台数は、R2からR3年にかけて一時落ち込んでいるものの、R4以降に回復傾向にある。
- 橋料金所・石橋料金所ともに、軽自動車等・普通車の通行が、約9割を占めている。
- 石橋料金所の通過台数は、橋料金所の通過台数の3割程度であるが、石橋料金所の渋滞回数は多く発生している。
- 石橋料金所の渋滞回数は、R4年以降から増加傾向にあり、下り線のみで渋滞が発生している。



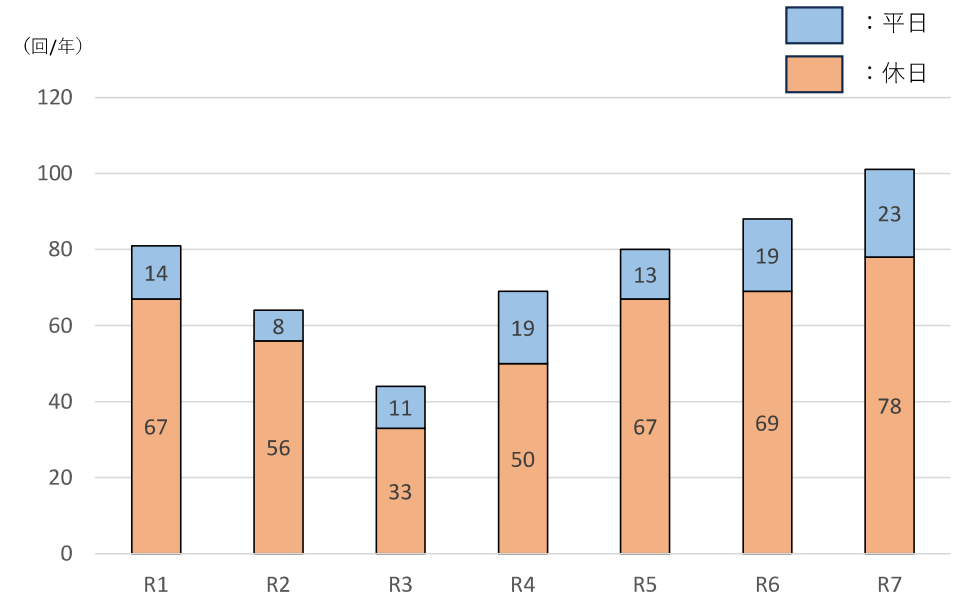
西湘バイパス 石橋料金所の通行台数・渋滞回数(平日・休日別)

- 石橋料金所の交通量は、休日が平日の約1.4～1.5倍の交通量で、交通量に偏在が生じている。
- 出口方面の渋滞回数は、R3年以降増加傾向にあり、休日が平日の約2～5倍で、休日の渋滞が顕著である。
- 天候や観光客数の変動等の影響により、月別の交通量に差が生じている。

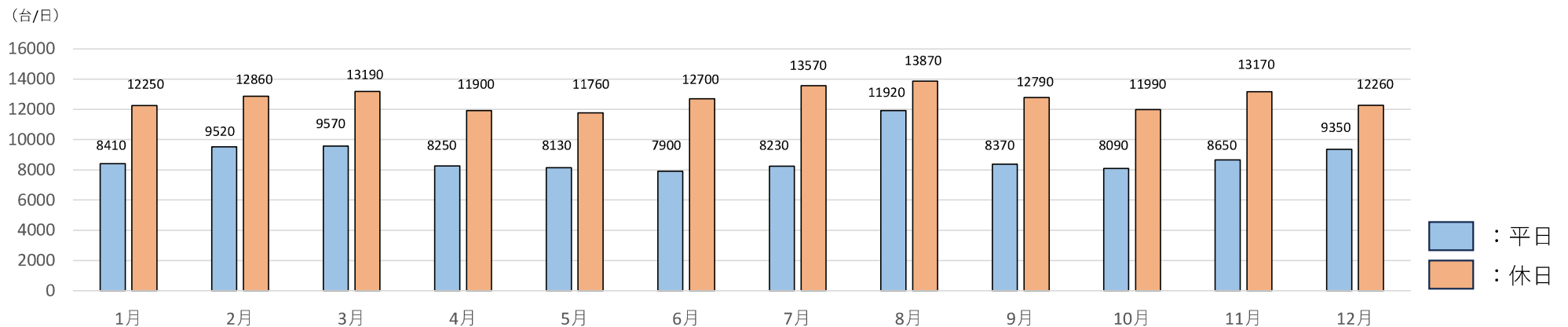
■石橋料金所 年別日平均交通量(平日・休日)



■石橋料金所出口(熱海・湯河原方面) 渋滞回数(暦年)



■石橋料金所R7年(暦年) 月別日平均交通量(平日・休日)



西湘バイパス 石橋料金所出口(熱海・湯河原方面)の交通状況(時間帯別交通量と渋滞回数)

- 休日において、石橋料金所出口(熱海・湯河原方面)で、料金所を先頭に渋滞が発生。
- 1時間当たりの交通量が約600台/時を超えるあたりから、所要時間が大幅に増加する。
- 石橋料金所出口(熱海・湯河原方面)において、午前7時から渋滞が発生し、午前11時に交通量のピークとなっており、私事などによる混雑時間の偏在が見られる。

■石橋料金所付近 位置図

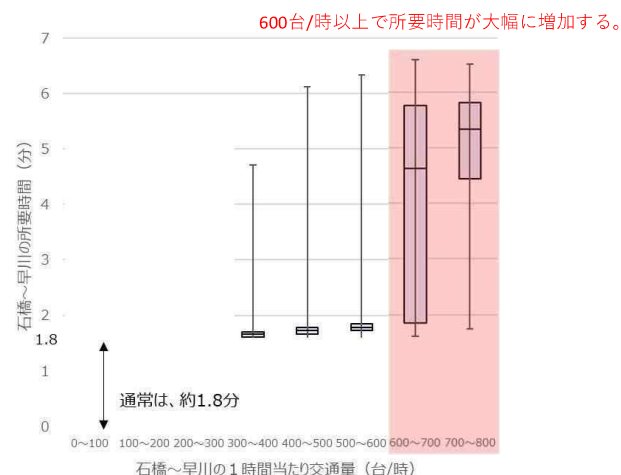


出典：Copyright© NTTインフラネット株式会社, JAXA All Rights Reserved



石橋料金所を先頭に早川分岐部まで延びる渋滞状況

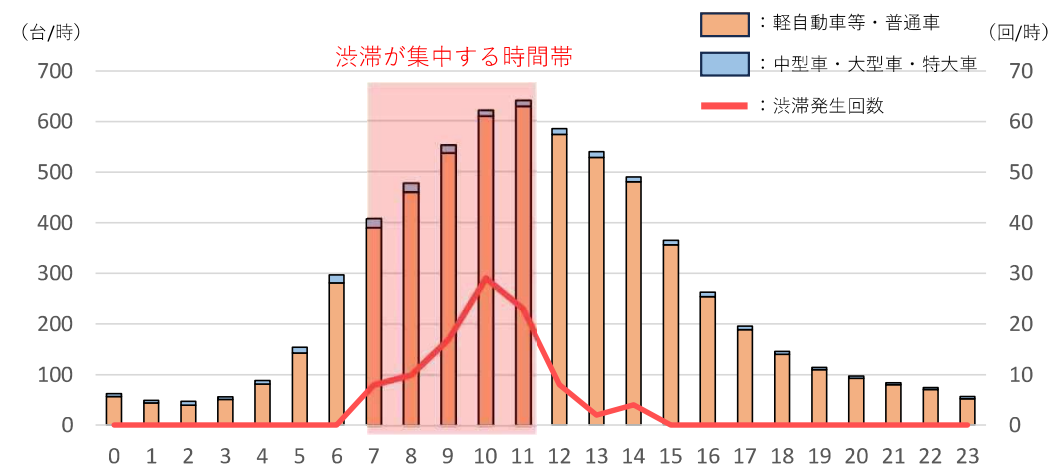
■石橋料金所出口(熱海・湯河原方面)の所要時間と交通量の関係



出典：NEXCO中日本(令和7年西湘バイパストラカンデータ)

※所要時間が規制速度未満のデータ及び中央値が規制速度未満のデータランクを抽出

■石橋料金所出口(熱海・湯河原方面)時間帯別年平均交通量と渋滞回数



出典：R7暦年交通量・渋滞発生回数(NEXCO中日本)

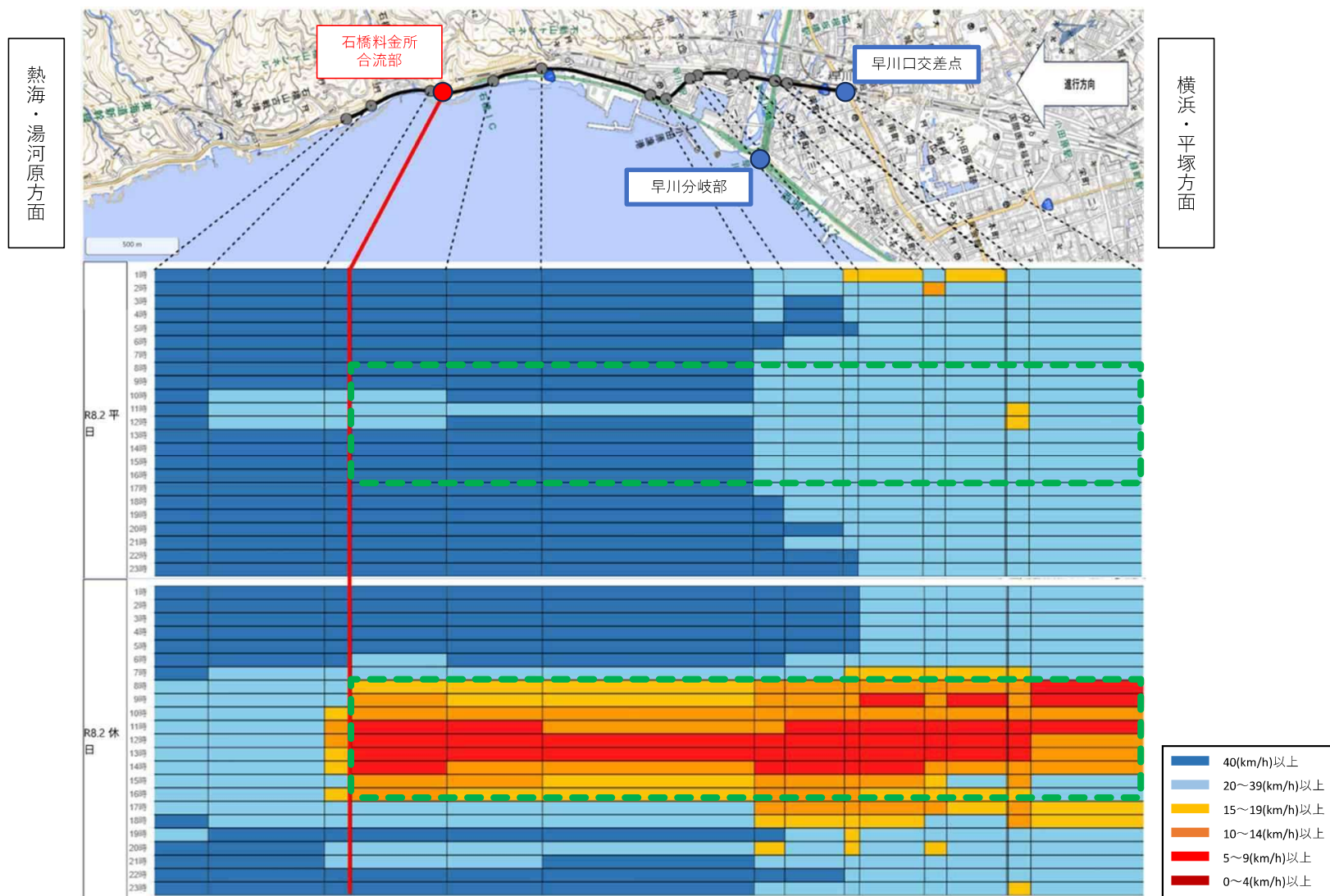
西湘バイパス(石橋IC～国府津IC 下り方向)の速度状況(R7暦年 休日)

- 石橋料金所出口付近において、7時から交通量増加による速度低下が発生するとともに、11時～12時が渋滞のピークとなっている。
- 石橋料金所出口付近の速度は、15時以降に回復傾向にあり、その後自由流の走行が可能となっている。



一般国道135号(小田原市内)下り方面の速度状況(令和8年2月平休別)

- 休日は平日と比較し、石橋料金所合流部付近から早川口交差点付近まで断続的に速度低下が生じている
- 石橋料金所合流部は、休日の8時台から16時台にかけて、速度低下が顕著である



一般国道135号(小田原市内)下り方面 時間帯別旅行速度(令和8年2月休日 6～9時台)

- 西湘バイパスは、7時あたりから、石橋料金所合流部を先頭に速度低下が発生。
- 国道135号についても、8時あたりから、石橋料金所合流部を先頭に、早川口交差付近までの速度低下が発生。
- 西湘バイパスの石橋料金所合流部を先頭とした速度低下は、9時以降さらに悪化し、早川分岐部を境に、小田原IC方面および小田原西IC方面まで延びている。

6時台

7時台

8時台

9時台

石橋料金所合流部を先頭に
西湘バイパスの速度低下が発生

国道135線も速度低下が発生

速度低下範囲が伸びている



一般国道135号(小田原市内)下り方面の旅行速度状況

混雑状況に応じた料金について

■社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会 中間答申（R3.8月）抜粋

③混雑状況に応じた料金の導入（戦略的な料金体系）

東京オリンピック・パラリンピック競技大会時の首都高速の料金施策においては、大会期間中の円滑な大会輸送と経済活動・市民生活の両立を図るため、マイカー等が6時から22時の間に利用する際の料金を割り増す一方で、E T Cを搭載した全ての車両について0時から4時の間に利用する際の料金を割り引くこととしている。こうした事例を参考にして、**交通需要の偏在等による混雑の緩和を図るため、特定の時間帯や経路の料金の割引や割増を行う料金を本格的に導入すべきである。**

その際、E T Cの普及によって、利用者が料金を強く意識せずに高速道路を利用しうる環境になる中、混雑状況に応じた料金による効果を高めるには、利用者の料金に対する認知度を向上させることが重要であり、分かりやすい料金設定や広報が求められる。このため、まずは、大都市圏の主要な**渋滞発生区間を対象に、時間帯や曜日をあらかじめ区切って交通転換を図るための料金施策を検討すべきである。**

■社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会（R7.1月）抜粋

- 休日は、大都市圏と主要都市を結ぶ路線などにおいて、私事や帰宅利用の過度な偏在により、渋滞が発生。
- 混雑時間が偏在する路線（主に大都市圏と主要都市を結ぶ路線）
＜＜路線例＞＞東京湾アクアライン、**西湘バイパス** 等
- 混雑等に応じた柔軟な料金体系に向けた論点整理

■社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会（R7.11月）抜粋

- 東京湾アクアラインでの試行継続
- **他地域での試行箇所を検討**

混雑状況に応じた料金について

■社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会 中間答申（R3.8月）抜粋

- 交通需要の偏在等による混雑の緩和を図るため、特定の時間帯や経路の料金の割引や割増を行う料金を本格的に導入すべきである。
- 渋滞発生区間を対象に、時間帯や曜日をあらかじめ区切って交通転換を図るための料金施策を検討すべきである。

■社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会（R7.1月）抜粋

- 混雑時間が偏在する路線（主に大都市圏と主要都市を結ぶ路線）
＜＜路線例＞＞・東京湾アクアライン、・西湘バイパス 等

■社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会（R7.11月）抜粋

- 東京湾アクアラインでの試行継続
- 他地域での試行箇所を検討

■西湘バイパスの交通状況と課題（まとめ）

- 石橋料金所の通過台数は、R3年に一時落ち込んでいるものの、R4以降に回復傾向にあり、渋滞回数も増加傾向。
- 橋料金所・石橋料金所ともに、軽自動車等・普通車の通行が、約9割を占めている。
- 石橋料金所の交通量は、休日が平日の約1.4～1.5倍の交通量で、交通量に偏在が生じている。
- 石橋料金所出口（熱海・湯河原方面）は、午前7時から渋滞が発生し、午前11時に交通量のピークとなっている。



西湘バイパスにおける交通需要の偏在等による混雑の緩和を図るため、
混雑状況に応じた時間帯別料金を試行

料金設定の考え方

項目	考え方		
対象車両	ETC車（軽自動車等または普通車）		
対象道路	○休日の混雑時間が偏在し、特に渋滞が多く発生している 西湘バイパス 石橋料金所出口（熱海・湯河原方面）		
対象日	特に渋滞が多く発生している 休日【土曜、日曜、祝日】 ※休日割引適用除外日も対象とする		
時間帯	非混雑 （オフピーク）	○ピーク時間帯から交通量を分散させる余地のある0時～7時までとする。	0時～7時
	混雑 （ピーク）	○特に交通量が多く、渋滞の発生がする時間帯である7時から12時までとする。	7時～12時
	その他	○混雑時、非混雑時以外の時間帯とする。	12時～24時
料金 （普通車の場合）	非混雑 （オフピーク）	○特定の混雑時間帯からの行動変容を誘引するため、公平性を著しく損なわないこと且つ休日割引を考慮し、 110円とする。	110円
	混雑 （ピーク）	○石橋料金所での定価料金徴収額は210円、休日割引が適用された場合は150円。 ○利用者の理解しやすさから、定価徴収料金となる 210円とする。	210円
	その他	○休日割引料金相当の 150円とする。	150円

※現金車は常に最大料金210円を徴収

時間帯別料金の社会実験(案)

○目的

西湘バイパスでETC時間帯別料金を実施することによって休日の混雑緩和を図る

○対象車

西湘バイパス 石橋料金所出口（熱海・湯河原方面）を走行するETC車のうち、**軽自動車等・普通車**

○対象期間

令和8年11月28日（土）～令和9年11月28日（日）（予定）

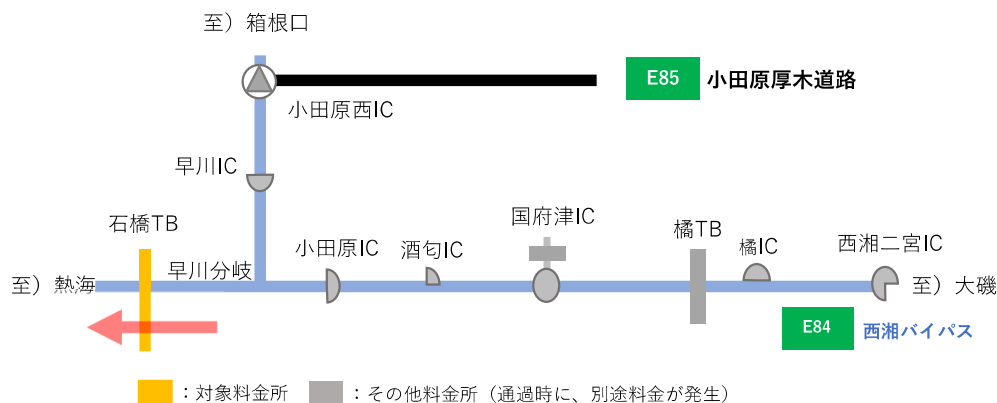
○ETC時間帯別料金（すべての土日・祝日）

石橋料金所 出口（熱海・湯河原方面）	土日・祝日			
	変更前 （休日割引適用時料金）	変更後※		
		0～7時	7時～12時	12時～24時
軽自動車等	110円	80円	160円	110円
普通車	150円	110円	210円	150円

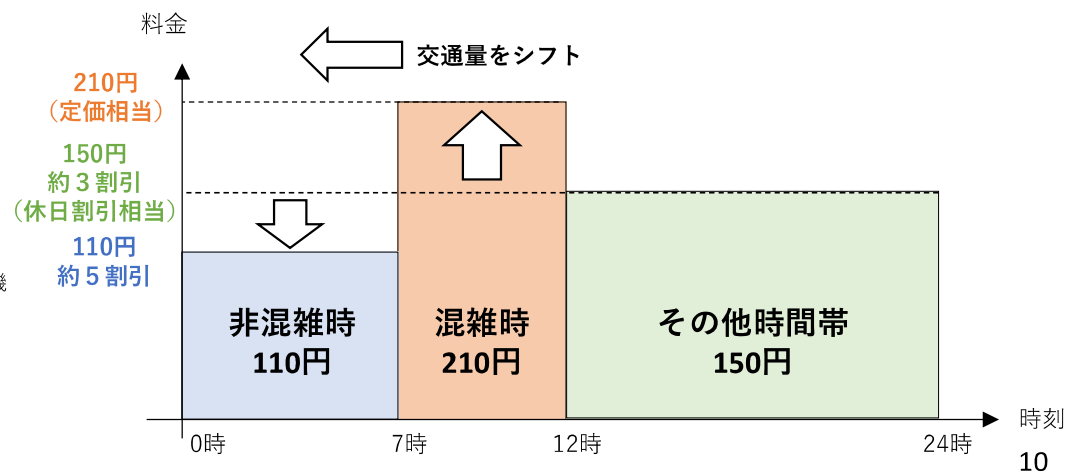
※中型車・大型車・特大車は対象外

※休日割引適用除外日も対象

料金所位置図



石橋料金所出口通過時の料金イメージ（普通車、ETC利用の場合）



広報計画

○広報媒体

ポスター、チラシ、横断幕、看板、SNS（X・Instagram・YouTube）等を予定

○広報期間

利用者の行動変容を促すため、1か月の周知期間を設ける。
また、導入後も継続的に広報活動を行う。

○役割分担

NEXCO中日本が行う



X（旧Twitter）による広報イメージ



時間帯別料金の広報物イメージ

11/28～
土日祝日
ETC限定

ETC 社会実験
E84

西湘BP
石橋料金所出口

熱海
湯河原

方面
普通車
の場合

0時～
110円

7時～
210円

12時～
150円

軽自動車等・
普通車対象

横断幕イメージ

時間変動料金による効果の予測・分析項目(案)

	最終成果のイメージ	評価項目	分析データ		役割分担
交通	【西湘バイパス本線の渋滞緩和】 ・ピーク時間帯からの交通転換 ・渋滞回数の減少、旅行速度の向上 【他ルートへの交通転換】 ・小田原厚木道路経由 ・国道1号経由 ・東名、新東名経由	1. 時間帯別交通量 2. 渋滞（発生回数、最大渋滞長、発生時間） 3. 旅行速度（速度の低下状況） 4. 利用圏域別の利用時間帯 5. 交通事故発生率の変化	トラカンデータ	交通データ（高速）	高速道路会社
			渋滞データ		
			ETCデータ		
			事故件数		
			ETC2.0※		
	【国道135号（石橋料金所付近）の渋滞緩和】 ・渋滞長の減少、旅行速度の向上 【安全性の向上】 ・交通事故発生件数の減少 等	1. 時間帯別交通量 2. 渋滞長 3. 旅行速度（速度の低下状況） 4. 交通事故発生率の変化	トラカンデータ	交通データ（一般道）	国交省 神奈川県 高速道路会社
			交通量調査		
			事故件数		
			ETC2.0※		
経済動向	【観光振興】 ・観光入込客数の変化 ・地域滞在時間の延長 等	1. 観光入込客数の変化 2. 観光客の意向 3. 観光施設の時間帯別利用者数	観光入込客数（統計データ）	観光	神奈川県 静岡県 高速道路会社
			人流データ		
			アンケート		
			ヒアリング		

※関東地方整備局からの提供を想定

■ 横浜国立大学 田中 伸治 教授

- ・ 効果検証にあたっては、関係する道路の交通状況や事故の発生状況についても十分に確認する必要がある。
- ・ 時間帯別料金の効果や影響を分析し、必要に応じた料金設定の見直しも含めて検討すべき。また、ETCによる支払では課金に対する感度についても留意する必要があると思慮する。

■ 東京女子大学 二村 真理子 教授

- ・ 道路の拡幅等ハード対策が容易にできない箇所であることから、既存のインフラを効率的に活用するために、ロードプライシングが利用可能である。
- ・ 料金の価格差が小さいため、早い時間に混雑箇所を通過して、観光地に行きたくなるような工夫や周知方法の検討が必要と思慮する。

今後の予定(案)

令和8年
10月29日
(本日)

西湘バイパス交通円滑化対策検討会
○西湘バイパスにおける新たな料金実験について

西湘バイパスにおける新たな料金実験実施

社会実験開始後、
一定期間の交通状況や経済活動を分析

各種評価項目の結果に基づき、
今後の料金施策を検討